



胸に、話しかけて。
“乳がんにならなう”



NEW

絶えないように、
思いをこめて。

乳がんを悩む人は周りの人との
交わりや支えが大切。
その関係が絶えないように。
乳がん検診を繰り返し受けてほしい。
その思いを、らせんに表現しました。
奈緒 (ピンを発案者)



ピンクリボン ピンをデザインした
松蔭高校の女子学生から、
愛のメッセージ。

マンモグラフィ検診を
繰り返し受けて下さい。
大切な命を大切に
して下さい。 奈緒

大切な命を守るために
毎日検診を受けたい。検診は
立ち止まってはいけない。命の
宝を守って下さい。 花観

女子高生のメッセージカードを
ピンと一緒にお届けします。

〈新製品/特別企画品〉
エイボン ピンクリボン ピン(SH)
37490

どんなファッションにも似合うシンプ
ルなピン。身につける時間とともに、
命を守る大切さを感じてください。
ラインストーン、ロジウムカラー仕上げ/
55×16mm/中国製

¥525
(¥500 税抜)

1 製品につき
70 円の寄付金を
含んでいます

製品1個につき70円を乳がん検診受診率の向
上を支援する寄付金にさせていただきます。

女子高生からのプロポーズ。 愛がピンになりました。

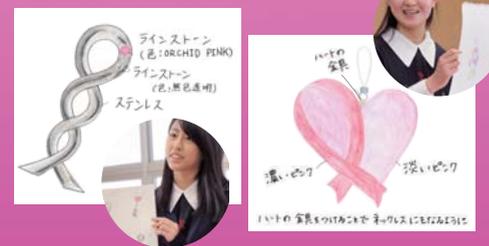
松蔭高校の女子学生がデザインしたピンクリボン ピン新発売

「エイボンと一緒に」
女子高生からのメッセージ。

今年のピンクリボン ピンは、神戸の松蔭高校から
のラブコールがきっかけでした。この高校では社会
活動に参加するチャレンジプログラムを実施。ピン
クリボンもそのひとつで、6年前から勉強を始め、
乳がん検診の拡充を知事に訴える活動をしてきまし
た。そして昨年末、エイボンと一緒に何かできないか
と、メッセージが届いたので。

17才の気持ちが動きだします。

エイボンと共同でピンの制作にチャレンジしたのは
4人の女子高生。多くの人に関心を持ってくれるよ
うに、指輪やネックレスなど、アイデアスケッチを
何枚も描いてくれました。どれも力作揃い。最終
的に2名のデザインが残りました。



「乳がんは高校生の私にも
身近な問題でした」

今回のプロジェクトに
参加した女子高生の声
です。「もしお母さんが
乳がんになったら、子
供の私や妹、お父さん
など家族にとっても
大変なこと。乳がんは身近な問題だと思いまし
た」「映画「余命1ヶ月の花嫁」を見て、ピンク
リボンへの関心が高まりました。今回の活動で、
学校外の大人の人と交流できたことは貴重な経
験でした」「若い人も乳がんになると知って、子供
の頃から関心を持つべきだと思いました。幅広
い年代のかたに興味を持ってもらえるように考
えました」「考え始めたらいろいろアイデアが出て
きて楽しかったです。より多くの人に関心を持っ
てもらえるよう工夫しました」



女子高生の命への思い。
ピンでつないで、あなたのもとへ。



美佳ちゃん

花観ちゃん

奈緒ちゃん

志保ちゃん